

主な輸出先国	台湾 (2024年)	輸出実績	108百万円 (2024年)
対象となる地域	栃木県宇都宮市、長野県須坂市		

輸出産地の概況

- 2名の生産者と連携し、輸出先国の残留農薬規制に対応しながら輸出に取り組む産地。

輸出に向けた規制・ニーズに対応した生産・流通の取

- 台湾向け残留農薬規制に対応。
- タイ向けに生産園地及び選果こん包施設を登録。
- インドネシア輸出に向けて、GLOBALG.A.P.認証を取得。
- 台湾向けは見た目重視のため、大粒で鮮やかな発色のものを選別し輸出。



台湾において
パック品を販売している様子

アピールポイント

- ★根域制限栽培により安定した品質のぶどうを生産（データに基づく生産管理等）
- ★持続可能な農業を目指した省力化栽培の実践



根域制限栽培の様子(左：1年目の園地、右：3年目の園地)